

第22回 東かがわ市コンサート

アンサンブル神戸 演奏会

ベートーヴェン

「英雄」



■ 曲目

- グリーク ピアノ協奏曲
- ベートーヴェン 「プロメテウスの創造物」序曲
交響曲第3番「英雄」



〈指揮〉永峰 高志



〈ピアノ〉久元 祐子

2026年

2月11日 水・祝

さぬき市源内音楽ホール
(さぬき市志度音楽ホール)

14:00開演 (13:30開場)

全席自由 2,000円 / 小中高生 500円

チケット販売所

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| ■東かがわ交流プラザ 0879-26-1224 | ■引田公民館 0879-33-2533 |
| ■大内公民館 0879-24-0945 | ■香川県民ホール 087-823-5032 |
| ■マツシタ 0879-25-0128 | ■カフェ第二楽章 0879-49-2698 |
| ■文遊館 0879-23-0222 | ■さぬき市源内音楽ホール 087-894-1000 |
| ■さぬき市市役所生活環境課 087-894-1119 | ■さぬき市総合支所(寒川庁舎) 0879-26-9901 |

- 主催：東かがわ市コンサート協会
- 共催：(公財法人)さぬき市文化振興財団
- 後援：東かがわ市 東かがわ市教育委員会 (公財法人)赤澤記念財団
- 連絡先：090-8699-3434(原)

プロフィール

指揮 永峰 高志

東京藝術大学卒業後NHK交響楽団に入団。第1ヴァイオリン次席奏者、第2ヴァイオリン首席奏者として活躍する。2012年NHK交響楽団より同団への功績が認められ第32回有馬賞を授与される。2015年同団を退団。現在、シュトゥットガルト室内管弦楽団、N響メンバーによる室内合奏団等のオーケストラとの共演でソリストとして、またウォルフガング・サヴァリッシュ、ペーター・シュミードル、ヴェンツェル・フックス各氏との共演等で室内楽奏者としても活躍している。ゲストコンサートマスターとしても、新日本フィル、仙台フィル、山形交響楽団、N響メンバーによる室内合奏団等のオーケストラに出演し好評を得ている。最近是指揮者としても活動の場を広げている。1995年、名古屋白川ホールに於いて、N響メンバーによるオーケストラを指揮しデビュー。その後も同オーケストラで、プロコフィエフ「ピーターと狼」、モーツァルト交響曲第40番、ベートーヴェン交響曲第5番「運命」等の指揮をし、聴衆、メンバー双方から絶賛を浴びる。国立音楽大学教授、洗足学園音楽大学客員教授、東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にも当たっている。その指導はヴァイオリン奏法だけにとどまらず、オーケストラスタディ、オーケストラ奏法にまで及び、門下からはミュンヘンフィル、NHK交響楽団をはじめ国内外のオーケストラのオーディションに数多くの合格者を輩出している。



ピアノ 久元 祐子

東京藝術大学卒業、同大学院修了。ウィーン放送響、ハイドン・フィルハーモニー、ラトヴィア国立響、読響、新日本フィルなど内外のオーケストラと多数共演。2011年ウィーンでのリサイタルはオーストリアのピアノ専門誌の表紙を飾り、ベーゼンドルファー・アーティストの称号を授与される。イタリア国際モーツァルト音楽祭に度々招かれリサイタルを開催。また歴史的楽器の演奏会や録音にも数多く取り組む。大阪・万博2025オープニング・セレモニーにおいては、お披露目演奏を行い、オーストリア連邦大統領ご臨席のもと御前演奏を行う。2016～22年にかけてモーツァルト・ピアノソナタ全曲演奏会を開催。「優雅なるモーツァルト」(毎日新聞CD特薦盤、レコード芸術特選盤)などCD18作をリリースし、「ベートーヴェン：テレゼ、ワルトシュタイン」は英国グラモフォン誌上「どこからどう考えても最高のベートーヴェン」など高い評価を受ける。園田高弘賞、毎日21世紀賞などを受賞。著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)など多数。現在国立音楽大学及び大学院特任教授。



アンサンブル神戸 (オーケストラ)

阪神淡路大震災時に仮設住宅などへの慰問演奏をきっかけに、関西の若手音楽家により発足した室内オーケストラ。1996年9月にオープンした神戸新聞松方ホールを本拠地として自主公演や依頼公演に当たっている。創立時から元ベルリンフィル第一コンサートマスター、レオン・シュピラー氏を首席コンサートマスターに招き、アンサンブルの緻密さや演奏能力の向上に努めてきた。2013年5月より一般社団法人アンサンブル神戸として生まれ変わり、関西を代表するオーケストラとして地域文化の振興、発展に貢献するため活動を続けている。

